

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

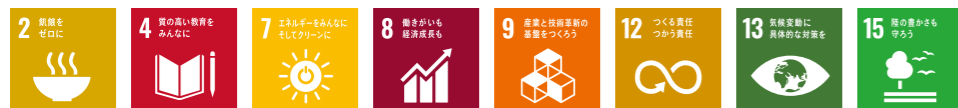


企業概要

代表者 / 代表取締役 宮本 泰邦
業 種 / 農業
設 立 / 平成 26 年 7 月 1 日
所在地 / 愛媛県八幡浜市産業通 2-20
連絡先 / 0894-21-3123

SDGs 達成に向けた取組み

持続可能な農業の実現に向けた、国際認証の推進、農業機械の電動化、新商品開発



1) グローバル GAP 認証の毎年更新を継続

農業の国際規格グローバル GAP 認証の推進は、食品・労働・環境の安全に配慮した持続可能な農業実現に向けた取組みになります。GAP とは Good Agricultural Practice の略で、適正な農業の実践のことです。(グローバル GAP は SDGs の達成に貢献するものです。)

当社は平成 27 年から毎年継続して、維持更新を行ってきました。当社は GAP 認証取得支援システムを開発し、自社だけでなく、地元の川之石高校や南宇和高校をはじめ県内外の教育機関や農家にシステムを提供しています。一緒にグローバル GAP に取り組むとともに、GAP 取得支援システムの利用を通じて、ICT を活用したスマート農業の実践にも取り組んでいます。



2) 農業機械の電動化により石油燃料の 80%削減

これまで当社で使用する農業機械は、化石燃料を使用していました。排気ガスなどの環境に配慮するだけでなく、騒音低減や軽量化や振動抑制などを旨として、主要な農機具である、草刈り機、チェーンソー、耕運機、背負い動噴を電動に切り替えました。



電動草刈り機とチェーンソー



電動耕耘機



電動背負い動噴

3) 地元企業や食材と連携した商品開発、および販売を推進

これまで当社はみかんの新たな価値をつくることに尽力してきました。クラウドファンディングを行い、当社オリジナル調味料である塩みかんを活用して、地元の八幡浜漁協と八幡浜高校とパスタソースを開発しました。さらに、「えひめ技あり鰯プロジェクト」では、八幡浜産のハモの薬味として、当社の塩みかんを採用していただきました。その他にも、県内の食品関連企業 7 社とパートナーシップ協定を締結して、お互いの商品を販売したり、新たな商品開発をする取組みを進めています。



ハモプロジェクト



鯛パスタソース